

第二十一回 貴族院議事速記録第十四號

明治三十八年二月二十日(月曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第十四號 明治三十八年二月二十日

午前十時開議

- 第一 醫師免許規則中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第四 不動産登記法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第五 罹災救助基金法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第六 北海道罹災救助基金法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第七 所得稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第八 鑛業法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第九 工場抵當法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十 鑛業抵當法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(公爵德川家達君) 昨十九日松村陸軍中將ノ葬式ヘハ過日ノ議決ニ基キマシテ、議長ハ諸君ヲ代表イタシマシテ會葬イタシ置キマシタ、本日ノ報告ハ省略ヲ致シマシテ速記録ニ掲ゲルコトニ致シマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕
一去ル十七日可決シタル左ノ議案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

遠洋漁業獎勵法改正法律案(政府提出)
俘虜處罰ニ關スル法律案(衆議院提出)

一同日承諾スルコトヲ議決シタル左ノ議案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ之ヲ奏上シ同時ニ承諾スルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ
明治三十七年勅令第二百二十五號(承諾ヲ求ムルノ件)

一同日修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ
鐵道抵當法案

一同日可決シタル左ノ本院提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ提出セリ
戰時補助船舶獎勵ニ關スル法律案

一同日可決シタル左ノ建議書ハ即日之ヲ政府ニ呈出セリ
故坂上田村磨旌表ニ關スル建議

一同日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ
賣藥稅法案特別委員會

委員長 伯爵廣澤 金次郎君 副委員長 男爵石黑 忠惠君

一同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

地租條例中改正法律案可決報告書

不動産登記法中改正法律案可決報告書

罹災救助基金法中改正法律案可決報告書

北海道罹災救助基金法案可決報告書

所得稅法中改正法律案可決報告書

工場抵當法案修正報告書

鑛業法案可決報告書

一去ル十八日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

鑛業抵當法案修正報告書

請願委員會特別報告第二號

一同日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

醫師免許規則中改正法律案

又同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

會計法中改正法律案

家祿賞典祿處分法中改正法律案

一同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ政府ニ於テ之ヲ撤回セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

一同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ議

決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ
司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

○議長(公爵德川家達君) 本日、議事日程ニ移リマス、議事日程第一、醫師免許規則中改正法律案、政府提出、第一讀會、山縣內務次官

醫師免許規則中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十八年二月十八日

內閣總理大臣 伯爵桂 太郎
內務大臣 子爵芳川 顯正

醫師免許規則中改正法律案

醫師免許規則中左ノ通改正ス

第三條中「官立及府縣立醫學校」ヲ「官立及公立ノ醫學校並文部大臣ノ指定

シタル私立醫學專門學校」ニ改ム

〔政府委員山縣伊三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山縣伊三郎君) 本案改正ヲ要シマス趣旨ヲ簡單ニ申上ゲマス、現行醫師免許規則第三條ニ依リマスレバ官立及府縣立醫學校ノ卒業證書ヲ有スル者ハ無試験ニテ開業免狀ヲ得ルコトニナツテ居リマス、然ルニ明治三十六年專門學校令ヲ發布セラレマシタル結果、同令ニ依リマス專門醫學校ハ私立デアリマシテモ十分ナル設備ヲ有シテ居リマスカラ、府縣立醫學校ト別ニ甲乙ハアリマセヌ、ソレユエ是等ノ學校ニシテ文部大臣ニ於テ特ニ指定セラル、モノハ矢張り無試験ニテ此開業免狀ヲ授與スルコトニ致シタイ、斯ウ云フ改正デアリマス、何卒御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第二、特別委員ノ選舉、此委員ノ選定ハ議長ニ御任セニナリマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ議長ガ選定イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三ニ移リマス、地租條例中改正法律案、

第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長岡子爵、第四ノ議事日程モ同一委員ニ付託シテアリマスカラ報告ハ東ネテ委員長ヲ煩ハシマス

地租條例中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十七日

右特別委員長

子爵長岡 護美

貴族院議長公爵德川家達殿

不動産登記法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十七日

右特別委員長

子爵長岡 護美

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 唯今議長ヨリモ御注意ガアリマシタ通り此第三ノ日程ト第四ノ日程ハ全ク關聯シテ居ル議案デアリマシテ、私共委員付託ノ選ニ當リマシテ今日議場ニ御報告ヲ致シマスノハ此第三第四ト合併セテ先ヅ私カラ御報告ヲ致サウト考ヘマス、此地租條例中ノ改正法案ハ政府ノ提出ニ理由モ明瞭ニ分ツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、全ク其初メ地租條例ガ制定サレタ後ニ段々他ノ法律ヲ制定サレマシタ所カラ此法規ノ整理ト云フコトヲセネバナラヌ、又此地租ヲ免ズルコトニ付テモ整理ヲセネバナラヌト云フノガ是ガ一ツノ趣意デアリマス、今一ツハ又此民法ガ制定ニナリマシテ、サウシテ此地租ナドト云フモノモ加ハツテ居リマス、又今度ハ唯此公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スルト云フ、即チ此府縣郡又市町村等ガ即チ公共團體デ公共ノ用ニ使用スル土地ト云フヤウナコトニ是マデノハ止マツテ居ッタノデアリマスガ、今度ハ誰ガ所有權ヲ持ツテモ亦質取權ヲ持ツテ居ツテモ府縣郡或ハ市町村等ガ此公共團體デ公用又ハ公共ノ用ニ供スル爲ニ今日持ツテ居ルヤウナコトデアリマス、是モ即チ地租ヲ免ズルト云フヤウナ譯デアリマシテ、ソレガ爲ニ此二案ハ全ク一方デハ免租ノ方法ヲ明瞭ニシ又一方デハ此地租徵

收ノ、即ち其方法ニ於テ便宜ヲ得ル爲ニ設ケラレタ法案デ、此際已ムヲ得ザ
ルコトト委員會デハ認メタ次第アリマス、一ト通りチヨット申上ゲマス
此第四條ノ改正ノ初ノ一項二項ハ少シ文ガ長クナツテ居リマスケレドモ、是
ハ全ク免租ヲ廣クスルト云フ意味デハナイノデアリマス、是ハ即ち段々初
ノ條例ガ出來タ上ニ他ニ、例ヘバ明治三十三年法律第十九號即ち唯今私ガチ
ヨット御話シタヤウナコトヲ簡單ニ讀ンデ見マスルト、三十三年ノ法律第十
九號、府縣郡市町村其他ノ公共團體ノ所有地ニシテ其ノ公用ニ供スルモノハ公用ニ
供シタル年ノ翌年ヨリ公用廢止ノ年マデ地租及公課ヲ免ス」斯ウ云フ風ニナ
テ居リマス、ソレデ今度ハ矢張り誰ガ所有權ヲ持ツテモ質取權ヲ持ツテモ即ち
矢張り公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ使用スル場合ニ於テハ即ち地租ヲ
免ズルコトニナリマス、文ガ二ツニ分ツテ居リマスノハ全ク此法規ノ整理ノ
爲デアリマシテ、即ち此第二項ノ方ハ是ハ全ク例ヘバ小作地ヲ道路ニ改メ
ヤウナ時ニナリマス、其小作地ヲ改ムルニシテモ翌日カラ直グニ公共ノ用ニ
供スル譯ニ參リマセヌ、是ハ砂利ヲ敷キ又道路ヲ造ルト云フコトハ其公共ノ
用ニ供スルマデノ間ハ矢張りマダソレヲ公共ノ用ニ使用シテナイモノデア
カラ免租スル譯ニ行カヌト云フヤウナ次第デアリマシテ、ソレ等ノコトヲ茲
デ明瞭ニ表ハシテ此二項ニ掲ゲタデデアリマス、是マデノ第四條ハ此第二
ノ公立學校地ト云フコトガ這入ツテ居リマス、即ち是ハ一項二項ガ茲ニ這入
レバ別ニ之ヲ置クコトハ入りマセヌカラ即ち此ハ省イタノデアリマス、又此保
安林ト云フヤウナコトニ今度改メマシタノハ是ハ矢張り其後ノ法律ノ結果カ
ラシテ保安林ト云フコトニナツタ譯デアリマシテ別ニ意味ハアリマセヌ、全
ク三カラ八マデハ現行法ノ通りデアアルノデアリマス、併シ此ノ公立學校地ト
云フモノヲ除イタダケデアリマスガ、詰リ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマ
シテ、全ク僅カナ改正ニ止マルノデアリマス、即ち此議席ニ御居デニナル池田
侯爵ガ即ち政府ニ無料貸付ケテアル所ノ岡山學校ノ敷地ナドガ手近イ御話
デアラウト思ヒマス、サウ云フノハ是マデノ法律ニスレバ地租ヲ免ズルト云
フコトガ無いノデ矢張り取ラナケレバナラヌヤウニナル、ソレデ即ち之ヲ明
瞭ニ一項ト二項デ明ニソレヲ區別シタ譯デアアルノデアリマス、又此ノ有料借地
ハ此限ニ在ラス」ト此所ニアリマスノハ、是ハ例ヘバ手近ク御話スレバ日比
谷ノ如キ公園ハ即ち衆民ノ用ニ供シテアルノデアリマスガ、併ナガラ公園内

ニ茶店デモ設ケルコトニナレバ、矢張り即ち營業的ニ之ヲ使用シテ居ルノデ
アリマスカラ、是ハ必ズ稅ヲ拂ツテ居ツテ、即ち其所有者ガ受取ツテ居ルヤウ
ナ譯デ、若シ公共團體ナレバソレガ即ち受取ツテ居ルノデアリマスカラ、ソ
レハ此中ニ加ハル譯ニナラヌノデ、矢張り有料借地ハ此限ニ在ラズト云フコ
トニナラナケレバナラヌ、ソレカラ此第十二條ノ創除ニナツタノハ別ニ申ス
マデモアリマセヌ、十三條ガ改ツテ居ルカラ之ヲ置ク必要ハ無いノデアリマ
ス、十三條ノ方ハ是ハ一項、三項ノ如キハ是マデノ通りノ譯デアリマスガ、
民法ガ制定ニナリマシタ所デ地上權ト云フモノガ這入ツテ參ッタ、地上權ノ事
ニ付テ新ニ此所ニ二項ヲ設ケラレタノデアリマシテ、是ガ即ち此意味ノ變
居ルノデアリマシテ、アトハ是マデノ法規ニ段々ト矛盾シテ居ルノヲ整理シ
タニ過ギヌノデアリマス、此「百年ヨリ長キ存續期間」ト云フコトハ是ハ或ル
國ニ依テハ九十九年ト云フヤウナモノモアリマスケレドモ、併ナガラ先ヅ日
本ニ於テハ百年ト定メテ置イタガ宜カラウ其方ガ分リ易クシテ宜カラウト云
フノデ、百年トナツテ居ルノデアリマス、此百年ヨリ長キ存續期間ノ定メ
ルモノハ即ち地上權者カラ徵收スルノガ便利デアラウト云フノデ、斯ウ制定
セラレタノデアリマス、外國人ノ如キハ所有權ト云フモノヲ持タヌノデアリ
マスカラ、日本人ノ所有スル土地デ地上權ヲ外國人ガ持ツテ居ルノガ多イヤ
ウデアリマス、併ナガラ近來ハ其例ガ一ツ開ケテ居リマスカラ、日本ノ人モ
地上權ヲ持ツテ居ル人ガアリマスカラ、横濱長崎ナドデ政府ガ調ベタ所デハ其
數ハ誠ニ僅ナモノデアリマスカラ此期間モ無制限デアルトキハ地租徵稅ニ
非常ニ不便利ヲ來スノデアリマスカラ此期間先ヅ斯ノ如キモノハ百年ヨリ長キ
ト云フコトデ此程度ヲ定メテ置イタ方ガ宜カラウ、決シテ之ガ爲ニ不都合ヲ
生ズルコトハアルマイト云フ、斯ウ云フ政府ノ考デ此案ヲ設ケタ次第デア
ルノデアリマス、委シク申上ゲレバ長クナリマスガ、既ニ速記録モ早く出シテ
ゴザイマスカラ諸君モ御覽下サイマシタラウカラ私ハ喋々ト長クハ述べマセ
ヌガ、サウ云フヤウナ譯デ第十三條ニ一ツ設ケマシテ段々是マデノ現行ノ第
十三條ノ規定ニハ、地租ノ月割免除ノ事ヲ定メテアリマスケレドモ是ハ昨年
法律第十二號ヲ以テ地租ノ徵收ハ月割ヲセザルコトニ改正シテアリマスカ
ラシテ、サウ云フノヲ加ヘ總テ此所デ明瞭ニナルヤウニ少シノ文字ノ整理ハ
アリマスガ、新シク加ハツタハ第二項ニ止マルノデアリマス、附則ノハ別ニ
申上ゲルマデモ無し、即ち明治三十一年法律第四號ハ傳染病院等ノ敷地ノ

事デアリマスガ、是ハ此案が出来レバ四條ノ一、二項ノ中ニ這入ルコトデアリマス、是ハ即チ今度廢止ニナリ、三十三年法律第十九號モ同ジ結果デアルノデアリマス、不動産登記法、是ハ唯今御話ヲ致シタ通りノコトデアリマシテ全ク地租條例ノ改正ニ伴ウテ居ッテ、ソレガ爲ニ之ヲ改正シタト云フダケニ止メテ置イテ宜カラウト思フデアリマスガ、併シ念ノ爲ニ申上ゲデ置キマスト是ハ大藏省ノ所管ニ稅務署ガアリ、其所ニ土地臺帳ガアル、又一方ハ司法省所管ニ登記所ガアッテ登記簿ガアルト云フヤウナモノデ、是ハ所有權ノ移轉デモスルヤウナコトガアレバ互ニ通ジ合ヒナシテ、例ヘバ登記所デ登記ヲ改メレバ直ニ稅務署ニ通ジテ、稅務署デ土地臺帳ヲ改メルト云フコトニナッテ居リマスカラシテ、サウ云フヤウナコトナ此所デ斯ウ云フ風ニシテ明ニナルヤウニ自然ト便利ヲ得セシメテ居ルニ外ハ無イデアリマス、是ハ別ニ私が申スマデモゴザイマセヌ、地租條例改正ノ主意ト同ジコトデアリマスカラ、本員ハ先ヅ是デ御報告ヲ止メ置カウト思ヒマス、尙申上ゲデ置キマスガ初メ申シマシタ通り、此改正ハ此際必要ナ部分ヲ整理スルダケノコトデアリマスカラ、委員會ニ於テハ質疑ハ澤山出マシタケレドモ、此際ハ政府案ノ通りデ宜カラウト云フノデ全會一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、尙法律ノ點等ニ付テ精細ナル御質問モアルナラバ、段々手續モ之ニ加ハッテ居リマスカラ、是等ノ點ハ政府委員ニ御尋ニナッタガ紛雜ヲ來サズ御明瞭ダラウト思ヒマスカラ、私ハ是ダケニ御報告ヲ止メマス、滿場諸君ニ於テ御異議ガ無イヤウデアリマスレバ直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタスデアリマス

○奥山政敬君 質問イタシマス、「百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權」トアリマスガ、少シ私ノ質問スルノハ三百的ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ議論ノアルコトデアリマスカラ、チヨット伺ッテ置キマス、「百年ヨリ長キ」此百年ト云フノハドウナルノデセウカ、百年モ長イト云フ方ニ入ルノデセウカ、百年少シ延ビテ居ラヌケレバ長キト云フコトニ入ラヌデアリマセウカ、此次ノ案ノ登記法ニモサウ云フコトガアリマシテ甚ダ紛ハシヤウデゴザイマスカラ、一應尋ネタイ、此方ニハ「以下」ト云フコトモ出テ居リマスシ又「長キ」ト云フコトモ出テ居リマスカラ、チヨット尋ネテ置キマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 「百年ヨリ長キ存續期間」ト申シマスノハ、其存續期間ガ百年ヨリ長イノヲ申シマスカラ、即チ百年ハ入リマセヌ、百年ヨリ

モ長イ存續期間ノミヲ申スデアリマス

○子爵長岡護美君 御異議モ無イヤウデアリマスカラ直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ請求シテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 長岡子爵ニ伺ヒマスガ何デスカ

○子爵長岡護美君 二讀會ヲ開カレムコトナ……

○議長(公爵德川家達君) マダ二讀會ニ移スヤ否ヤモ分ッテ居リマセカラ暫ク御待チテ願ヒタイノデス、地租條例中改正法律案、別ニ御發言モ無イヤウデアリマスカラ採決イタシマス、地租條例中改正法律案ナ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマフ

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵長岡護美君 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 贊成

○侯爵池田詮政君 贊成

〔其他贊成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 長岡子爵ノ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ二讀會ヲ開クトニ致シマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ全部可決、是ニ於テ二讀會ハ終リマシタ

○子爵長岡護美君 直ニ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ三讀會ヲ開クト云フ長岡子爵ノ動議ニ御異存

ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ三讀會ヲ開キマス……二讀會ノ決議通

リ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ三讀會ヲ開キマス……二讀會ノ決議通

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ是ニ於テ二讀會ハ終リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第四ニ移リマス

○伯爵大原重朝君 唯今委員長ノ報告デ明瞭シテ居リマスカラ讀會省略デ可
決アラムコトヲ希望シマス

○伯爵正親町實正君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 不動産登記法中改正法律案ヲ第二讀會ニ移スベシ
トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵長岡護美君 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ二讀會ヲ開クト云フ長岡子爵ノ動議ニ御異議
ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供
シマス……全部御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 是ニ於テ二讀會ハ終リマシタ

○子爵長岡護美君 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ二讀會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ二讀會ヲ開キマス、原案御異存ハゴザ
イマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 三讀會ハ終リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、罹災救助基金法中改正

法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告、ソレニ第六ノ法案モ同一委員ニ付
託セラレマシタカラ報告ハ束ネテ致シマス、特別委員長加納子爵

罹災救助基金法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十七日

右特別委員長

子爵加納 久宜

貴族院議長公爵德川家達殿

北海道罹災救助基金法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十七日

右特別委員長

子爵加納 久宜

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵加納久宜君演壇ニ登ル〕

○子爵加納久宜君 日程第五第六ニ掲ゲラレタル罹災救助基金ニ關スル案件
ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ右ノ經過及結果ニ付キマシテ委員會ノ狀
況ヲ御報告イタシマス、委員會ハ去ル十七日ニ開キマシテ、多少質問モゴザ
イマシタガ、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決スベキモノト決定イタシマシタ、本
案ハ現行法中ノ十六條及十七條ノ二項ダケノ改正デゴザイマス、大體此改正
ヲ要スル所以ノ趣意ハ、此救助基金ハ府縣會ノ決議ヲ以テ地方長官ガ内務大
臣ノ認可ヲ得テ而シテ管理ノ方法ヲ極メ、斯ウ云フコトニ是マデハナッテ
居ルノデゴザイマス、然ルニ此管理法ノ決定ハ地方長官ノ申請ニ依ッテ始メ
テ内務大臣ガ認可ヲ與ヘルノデゴザイマスケレドモ、例ヘバ確實ナル銀行ニ
委託スルト云フ管理ノ方法ノ如キ、是ハ業務ノ盛衰等ノ爲ニ今日確實ト認メ
テ居ルモノガ、明日或ハ然ラザルモノガ有ルナキヤチ保セナイノデゴザイマ
ス、斯ル場合ニ於キマシテハ成ルベク此監督及管理ノ機敏且ツ確實ヲ保タム
ガ爲ニハ直ニ内務大臣ヨリ管理ノ方法ヲ指定シテ、而シテ從來ノ管理ノ方法
ヲ改メシムルト云フコトノ最モ必要ヲ認ムルノデゴザイマシテ、是ガ即チ此

十六條改正法案ノ由來スル所ト信ジマス、又第十七條ニ於キマシテハ從來ノ救助基金ハ三分ノ一ヲ以テ災害土木費ニ支給スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、愈々此基金ガ規定ノ額ニ達シマスル上カラハ尙此金額ヲ以テ十箇年以内ノ期限ヲ以テカラニ有利ニシテ且其二分ノ一ダケヲ支出スルコトノ出來ルト云フ一ツノ活路ヲ本案ニ於テ開カレタノデゴザイマス、此法ガ開カレマセメト現行法ニ於テ三分ノ一ダケヲ使フコトガ出來ル、併ナガラ既ニ制限以上ニ達シテ居ルニモ拘ラズ、ソレヨリ以上使フコトガ出來ヌト云フ場合ニ於テ十六條ノ二項ノ改正ガゴザイマスレバ尙ソレヨリ以上ノ額ニ於テ二分ノ一ヲ使フコトガ出來ルト云フコトニナルノデアッテ、頗ル地方ニ於テ便宜ナコトト信ジマスノデ、殊ニ本案ニ新分子ノ加ハリマシタノハ「其ノ他ノ事業費」ト云フコトガアル、是等モ固ヨリ地方ニ於テハ極メテ必要ナコトデアラウト思ヒマス、例ヘバ砂防工事ノ如キ或ハ農事改良ノ事業ノ如キ或ハ產馬事業ノ如キ此公益ニ關スル事業トシテ地方費ヲ支出セザルベカラザルコトハ一ニシテ足ラヌノデゴザイマスガ、其他ノ事業費ニ使フト云フコトヲ許サレナイ間ハ、一方ニ於テ制限額ニ達シテ此救助基金ニ於テ餘裕ガ十分ニアルコトト相成リマシテモ、之ヲ使フコトガ出來ザルガ爲メ特ニ地方債ヲ起シテカラニ一方ニ金ノ餘リノアルニ拘ラズ一方ニ於テ借金ヲシナケレバナラナイ、ト云フ如キ不便ヲ感ズルノデゴザイマス、ソレ故ニ此改正ガ行ハレバズル不便ナル事實ヲ生ズルコトハ免レルノデゴザイマスカラ、本案ハ極メテ適當ノ改正ト認メタノデゴザイマス、北海道罹災救助基金、此點ニ付キマシテハ元來同道ニ於テ基金ノ事實モ固ヨリ無イデハナイ、サリナガラ賑恤基金ノ如キ或ハ救助基金ノ如キ種々ナル規定或ハ命令等ニ依ッテ從來行ハレテ居ッタノデゴザイマスケレドモ、同道文物ノ進歩發達ハ最早此諸種ノ規定ヲ定メラレタル時ト今日トハ大ニ相違ヲ致シテ居ルノデゴザイマスカラ、最早今日ニ於テハ一ノ法律ヲ制定シテ而シテ此救助ノ方法ヲ確定シナケレバナラナイト云フ必要ニ到達シタノデゴザイマス、サリナガラ北海道ニ於ケル罹災救助ノ法律ハ一般ノ罹災救助法ニ依ッテ必シモ約束スルコトノ出來ナイ事情ガゴザイマスノデ、大體ハ之ヲ標準トシテ運用スルニハ相違アリマセヌケレドモ、特ニ北海道ニ付テ必要ナル規定ヲ設クルノ已ムヲ得ザルニ至リマシタ所カラ、北海道罹災救助基金法案ノ提出セラレマシタコトト信ジマスル、デ是等ハ一々條項ニ付キマシテ申上ゲルノ必要モ無イ、罹災救助基金

法中ノ特別ナル場合ヲ規定イダシマシタニ過ギナイノデゴザイマシテ、是亦事實上必要缺クベカラザルコトト認メマス所カラ、特別委員會ニ於キマシテモ毫モ異議ナク全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、依ッテ相成ルベクハ此兩案トモ極メテ單簡ナル理由デ明白デゴザイマスルノデ、讀會ヲ省略セラレテ速ニ可決セラレムコトヲ希望シマス

○侯爵黒田長成君 讀會省略ニ贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○高木兼寛君 讀會省略ニ贊成

○中島永元君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成ガゴザイマシタ、之ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、議事日程第五ノ法案ハ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ原案可決

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六ノ法案モ御異存ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 是モ原案通り可決

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、所得稅法中改正法律案、特別委員長報告、特別委員長山口子爵

所得稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月十七日

右特別委員長

子爵山口 弘達

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵山口弘達君演壇ニ登ル〕

○子爵山口弘達君 本員ハ唯今議題ニ上ボリマシタ所得稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報道イタシマス、去ル十六日ニ正副委員長ノ互選ヲ致シマシテ續イテ會議ヲ開キ、又十七日ニ會議ヲ開キマシタ、デ政府委員ヨリ說明モゴザイマシタ、又委員ヨリ詳細ノ質問モ致シマシタ、デ此所得稅法中改正法律案ノ其改正ノ所ハ數箇所ニ涉ッテ居リマスガ、其重モノナル所ハ第十一條トソレカラ第四十二條ノ改正ガ重モノナルモノデゴザイマス、デ第十一條ハ所得調查委員會ノ是マデノ組織ヲ變更スルト云フコトデアリマシテ、是マデハ市郡ト各稅務署所轄内ニ跨ッテ居リマシタノナ此度市郡トナ分離スルト云フ改正デアリマシテ、ソレハドウ云フ譯デ之ヲ分離スルト申シマスレバ是マデノ實行シタ結果ニ依リマス、市カラ出マス委員ト云フモノガ少クテ郡カラ出マス委員ノ數ガ自ラ多クアル、ソレハ郡ノ方ガ諸方ニ跨ッテ居ルト云フ所カラ自ラ選出サレル委員モ其數ガ多イ、其結果常ニ市ノ方ノ調査ノ事柄ガ郡ノ方ノ委員ノ爲ニ決セラレテ仕舞フト云フヤウナコトデアリマス、ソレデ市ノ方ハ多ク商業、又郡ノ方ハ多ク農業ト云フコトデアッテ其調査ノ種類ト云フモノガ自ラ異ッテ居リマス、然ルニ市ノ方ノ事ヲ郡ノ方デ決セラレルノハ誠ニ市ノ爲ニ不便デアッテ困ルト云フコトデアッテ、段々市ノ方ハ獨立シテ郡ト離レタイト云フコトヲ其筋ヘ申出ルヤウニナッテ來タ、サウ云フコトデハ不便デアラウト云フコトデアッテ斯ウ云フ改正チスルト云フコトデアリマス、ソレカラ第四十二條ハ是マデ二期ニナッテ居リマシタノナ今度ハ四期ニスル、即チ是ハ第三種ノ所得稅デゴザイマス、デ此度戰時稅ガ増稅ニナリマシテ隨ッテ此所得稅ノ納稅額ト云フモノモ是マデヨリハ大變ニ多額ニナリマシタ、ソレヲ二期ニ納メルト云フコトハ甚ダ納稅者ガ苦痛ヲ感ズル、且ツ不便デアラウト云フ所カラ此改正チスルト云フコトデアリマス、ソレハ唯今マデノ納稅額カラ見マスト一個人ニ付キマシテモ二倍半ニナッテ居リマスカラ、是マデ百圓納メタ者ガ二百五十圓納メナケレバナラヌ、ソレヲ二期ニ納ムレバ即チ百二十五圓ヅ、納メルト云フコトニナッテ、高ガ多クナリマス、ソレヲ四期ニ納ムレバ自ラ少額ニナッテ納稅者モ大變ニ苦痛ヲ免レ且又便利デアラウ、斯ウ云フコトデ之ヲ改正スルコトデアリマシタ、衆議院ノ方ガ修正チ致シタノハ政府デ十月トシマシタノ十一月トシマシタガ、是ハ政府ノ改正スルノハ十月ハ納稅ガ少イ、即チ酒造稅バカリデアアル、十一月ハ營業稅ダ

カ畑ノ地租トカ云フモノヲ納メナクテハナラヌカラ九、十ト續イテ何デアルケレドモ、十一月ヨリハ十月ノ方ニシタ方ガ宜カラウト云フコトデ、政府デハ提出サレタシタサウデアリマスガ、衆議院デハ十月ハ地方稅ヲ納メルカラ、稅ヲ納メル點ニハヒドイ違ヒハ無イカラ、イッソ十一月ヲ納期トシタ方ガ宜カラウト、斯ウ云フコトデアッテ、政府ニ於テモ別段差支ハ無イト認メテ衆議院ノ修正ニ同意シテ居ルサウデアリマス、其他改正ハ數箇條ニ涉ッテ居リマスガ、是ハ詰リ唯今申上ゲマシタニツノ重モノナル條項ノ改正ニ伴ッテ序デニ之ヲ改正スル、實行上不便ノ所ヲ改正スルト云フコトニ止リマス、ソレカラ衆議院ニ於テ修正チ大分シデアリマスガ、是ハ總テ政府ニ於テモ同意チサレテ居リマスサウデゴザイマス、其他一々說明チ致ス答デゴザイマスガ、唯實行上不便ナ所ヲ修正シタニ止マルト云フコトデアリマシテ、却ッテ私が説明シマスヨリハ政府委員ニ御尋ニナッタ方ガ明瞭ニナリマスカラ、私ハ唯是ダケノ御報告チシマシテ、アトハ御質問等ガゴザイマスレバ、ドウゾ政府委員ニ御質問ヲ願ヒマス

○名村泰藏君 ちヨット質問チ……此四十二條ノ第三項チ此度改メラレテ居リマスガ此納稅期ハ個人ダケニ止ルモノデアラウカト思ヒマスガ、法人ノ納期ト云フモノハドウ云フ風ニナサル積リデアリマスカ、ちヨット御尋イタシマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今ノ御尋ニ御答イタシマスガ、法人ノ所得ニ付キマシテハ決算期毎ニ所得稅ヲ取ルト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレデ一箇年ヲ以テ一事業年度トシテ居リマスモノハ一箇年ニ一度取リマス、六箇月ヲ以テ一事業年度トシテ居ルモノハ六箇月毎ニ此稅ヲ取ル、斯様イタシマスノデ、法人ニ付テ納期ヲ殖シマセナカッタ所以ハ法人ハ決算チ致シマセメト損益ハ分リマセヌ故ニ、決算期ニ於テ取ルヨリ外、徵稅ノ仕様ハ無イ、ソレデ是ノ納期ニ付テハ改正チスル必要ハ無イト考ヘテ、ソレデ唯一個人ノ納期ノミニ付テ改正チ加ヘタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言ガゴザイマセネバ採決チ致シマス、二讀會ニ移シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○子爵山口弘達君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトチ……

○子爵大久保忠順君 贊成

○西村亮吉君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ二讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト「呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、特別委員會ノ報告通り御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト「呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ報告通り決シマス、二讀會ハ終リマシタ

○子爵山口弘達君 直チニ三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○伯爵柳原義光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト「呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト「呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ三讀會ハ終リマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第八ニ移ルベキ筈デアリマスガ委員長ヨリノ請求ガゴザイマスカラ此第八法案ノ議事ハ延シマシテ議事日程ノ第九ニ移リマス、工場抵當法案第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長岡部子爵

工場抵當法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月十七日

右特別委員長

子爵岡部 長 職

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ載録ス)

第二條 工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地ノ上ニ設定シタル抵當權ハ建物

ヲ除クノ外其ノ土地ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物及其ノ土地ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニ及フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキ及民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ工場ノ所有者カ工場ニ屬スル建物ノ上ニ設定シタル抵當權ニ之ヲ準用ス

第三條 工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地又ハ建物ニ付抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建物ニ備付ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノノ目錄ヲ提出スヘシ

第二十二條第二項、第三十五條及第三十八條乃至第四十二條ノ規定ハ前項ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第四條 第二條第一項但書ニ掲ケタル別段ノ定アルトキハ抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第五條 抵當權ハ第二條ノ規定ニ依リテ其ノ目的タル物カ第三取得者ニ引渡サレタル後ト雖其ノ物ニ付之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第九十二條乃至第九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第八條 工場ノ所有者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲一箇又ハ數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設クルコトヲ得數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スルトキ亦同シ

工場財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ス

工場財團ハ抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第十條 工場財團ノ所有權保存ノ登記ハ其ノ登記後二箇月内ニ抵當權設定ノ登記ヲ受ケサルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條 工場財團ハ左ニ掲グルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組織スルコトヲ得

- 一 工場ニ屬スル土地及工作物
- 二 機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條其ノ他ノ附屬物
- 三 地上權
- 四 賃貸人ノ承諾アルトキハ物ノ賃借權
- 五 工業所有權

第十三條 他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノハ工場財團ニ屬セシムルコトヲ得ス

工場財團ニ屬スルモノハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ質貸ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 工場財團ハ之ヲ一箇ノ不動産ト看做ス

工場財團ハ所有權及抵當權以外ノ權利ノ目的タルコトヲ得ス但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ質貸スルハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 所有權保存ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノ財團ニ屬スヘキモノニシテ登記アルモノニ付テ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ其ノ財團ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

前項ニ掲ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ遲滞ナク管轄登記所ニ通知スヘシ
前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲シ其ノ登記簿ノ謄本ヲ通知ヲ爲シタル登記所ニ送付スヘシ但シ其ノ謄本ニハ抹消ニ係ル事項ヲ記載スルコトヲ要セス

前三項ノ規定ハ工業所有權カ工場財團ニ屬スヘキ場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第二十四條 前條ノ場合ニ於テ登記官吏ハ官報ヲ以テ工場財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ一定ノ期間内ニ其ノ權利ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月以上三箇月以下トス

前項ノ公告ハ所有權保存ノ登記ノ申請カ期間ノ滿了前ニ却下セラレタルトキハ遲滞ナク之ヲ取消スヘシ

第二十五條 前條第一項ノ期間内ニ權利ノ申出ナキトキハ其ノ權利ハ存在セサルモノト看做シ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ但シ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレタルトキ又ハ其ノ登記カ效力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 所有權保存ノ登記ノ申請ハ不動産登記法第四十九條ニ掲ケタル場合ノ外左ノ場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

一 登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキモノカ他人ノ權利ノ目的タルコト又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルコト明白ナルトキ

二 工場財團目錄ニ掲ケタルモノノ表示カ登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ト抵觸スルトキ

三 工場財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ遲クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間内ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第二十八條 登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滞ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第二十九條 工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十三條 工場財團ニ屬スヘキ動産ハ第二十四條第一項ノ公告アリタル後ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第二十四條第一項ノ公告アリタル後差押アリタルトキハ第三十條ノ規定ヲ準用ス

第二十四條第一項ノ公告アリタル後差押、假差押又ハ假處分アリタル場合ニ於テ抵當權設定ノ登記アリタルトキハ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ

第三十四條 登記官吏カ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ財團ニ屬シタルモノノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬シタル旨ヲ記載スヘシ

第二十三條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ登記簿又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ノ送付ヲ要セス

第三十七條 登記官吏カ抵當權設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十一條ノ

規定ニ依リ效力ヲ失ヒタル登記ヲ抹消スヘシ

第二十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ登記簿
謄本ノ送付ヲ要セス

第三十八條 工場財團目錄ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ所有者
ハ遲滞ナク工場財團目錄ノ記載ノ變更ノ登記ヲ申請スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ抵當權者ノ同意書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本
ヲ添附スヘシ

第四十二條 工場財團ニ屬シタルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リ
タルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ目錄中其ノ登記ノ目的タル
モノノ表示ノ側ニ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨、

申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ其ノモノノ表示ヲ朱抹スヘシ

第四十四條 工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノカ滅失シ又ハ財
團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモ
ノノ登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ旨ヲ記載シ第二十三條及第三十四條

ノ記載ヲ抹消スヘシ

前項ニ掲ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ其ノモノカ滅失シ
又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨ヲ遲滞ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

前三項ノ規定ハ工場財團ニ屬シタル工業所有權カ消滅シ又ハ財團ニ屬セ
サルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第四十六條 裁判所ハ抵當權者ノ申立ニ因リ工場財團ヲ箇箇ノモノトシテ
競賣又ハ入札ニ付スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

第四十九條 工場ノ所有者又ハ法律ニ依リ之ニ代リテ一切ノ行爲ヲ爲ス權
限ヲ有スル者カ讓渡又ハ質入ノ目的ヲ以テ第二條ノ規定ニ依リ抵當權ノ
目的タル物ヲ第三者ニ引渡シ又ハ引渡サシメタルトキハ十五日以上二月

以下ノ重禁錮ニ處ス

前項ニ規定シタル行爲ト雖刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ從フ

第五十條 工場ノ所有者カ抵當權ノ目的ト爲シタル物又ハ抵當權ノ目的
ト爲シタル工場財團ニ屬スル物ヲ毀損シ又ハ毀損セシメタルトキハ刑法
第四百十七條乃至第四百二十三條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 工場抵當法案ノ審査ハ社債信託法案ノ委員ニ付託サレマ
シテ、本案ニ付キマシテハ最モ精密ナル質問並調査ヲ致シマシタルデアリマ
ス、委員長ト致シテ本員ノ御報告イタシマスルコトハ誠ニ簡單デアリマシテ、

即チ此報告書ニアルガ如ク「右別冊ノ通り修正セリ」ト申スダケヲ御報告イタ
スニ止ツテ要領ヲ盡シテ居ルト云フ位ノコトデアアル、質問並政府委員ノ答辯
ガ相濟ミマシテカラ、委員ハ小委員ヲ置クコトニ致シマシテ三名ノ小委員ヲ
選定サレタノデアリマス、ソレハ富井君、名村君、馬屋原君ノ三君デアリマ
シタ、此小委員ハ付託ヲ受ケラレマシテ非常ナル勵精ヲ以テ十分ニ審査ヲ遂
ゲラレ、一方ニハ政府委員ト各條ニ付テ十分ニ研究ヲサレ完全ナル報告ヲ委
員ニ向ッテ致サレタノデアリマス、委員ニ於テハ小委員ノ修正報告ヲ得マシ
テ一ノ質問モ無ク一ノ意見モ無ク全部ヲ一括シテ議決イタシタルデアリマ
ス、右ノ次第デアリマスカラ委員長ト致シマシテハ別ニ各條ニ付テ御報告ヲ
致スホドノコトハ無い、各條ニ付テ御不審ガアリマスルナラバ小委員ナル所
ノ三君即チ富井君、又ハ名村君、馬屋原君ノ中ヨリ最モ精密ナル説明ガアリ
マセウト考ヘマスカラ委員長ハ此簡單ナル報告ヲ以テ演壇ヲ下リマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ二讀會ニ移スベキヤ
否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○名村泰藏君 二讀會ヲ直グニ御開キニナルヤウニ願ヒマス

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○子爵三島彌太郎君 贊成

〔其他〕贊成ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ名村君ノ動議ニ御異
存ハゴザイマセヌカ

〔異議〕ナシト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直チニ二讀會ヲ開キマス、全部ノ問題ニ供
シマス……特別委員長ノ報告通り御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ニ於テ二讀會ハ終リマシタ

○馬屋原彰君 直チニ三讀會ヲ開カレムコトナ……

〔贊成「ト呼ブ者多シ」〕

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クニ御異存ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直チニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議通
リ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ全部第三讀會ヲ終リマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二移リマス、鑛業抵當法案、第一讀
會ノ續、特別委員長報告、特別委員長曾我子爵

鑛業抵當法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月十八日

右特別委員長

子爵曾我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

鑛業抵當法

第一條 探掘權者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鑛業財團ヲ設クルコトヲ得

第二條 鑛業財團ハ左ニ掲クルモノニシテ鑛業ニ關シ同一探掘權者ニ屬ス
ルモノノ全部又ハ一部ヲ以テ之ヲ組成スルコトヲ得

一 鑛業權

二 土地及工作物

三 地上權及土地ノ使用權

四 賃貸人ノ承諾アルトキハ物ノ賃借權

五 機械、器具、車輛、船舶、牛馬其ノ他ノ附屬物

第三條 鑛業財團ニ付テハ工場抵當法中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條 探掘權取消ノ登錄アリタルトキハ鑛山監督署長ハ直ニ之ヲ抵當權
者ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ直ニ其ノ權利ヲ實行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ抵當權ヲ實行セムトスルトキハ抵當權者ハ第一項ノ通
知ヲ受ケタル日ヨリ六箇月内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

探掘權ハ前項ノ期間内又ハ抵當權實行ノ終了ニ至ル迄抵當權實行ノ目的
ノ範圍内ニ於テ仍存續スルモノト看做ス

競落人又ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル法人ハ探掘權取消ノ登錄アリ
タルトキニ於テ探掘權ヲ讓受ケタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ錯誤ニ因リ鑛業ノ出願力許可セラレタル場合又ハ鑛業カ
公益ヲ害スルモノト認メラレタル場合ニ於ケル探掘權ノ取消ニ關シテハ
之ヲ適用セス

第五條 前條ノ規定ハ探掘權者カ廢業シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六條 競賣ニ付セラレタル鑛業ヲ目的トシ帝國法律ニ從ヒ法人ヲ設立セ
ムトスル者カ競賣ニ加入スルトキハ競買ノ申込ト同時ニ其ノ旨ヲ執行裁
判所ニ申出ツヘシ

前項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入スル者ハ競買ノ申込ニ關シテハ連帶シテ其
ノ責ニ任ス

第七條 鑛業財團ノ競落人カ前條第一項ノ規定ニ依リ競賣ニ加入シタル者
ナルトキハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル日ヨリ三箇月内ニ法人ヲ設立シ
之ヲ執行裁判所ニ届出ヘシ

第八條 前條ノ競落人ハ法人設立ノ日ヨリ一週間以内ニ競落代金ヲ執行裁
判所ニ支拂フヘシ但シ債權者カ競落人タル場合ニ於テハ自己カ競落代金

中ヨリ受取ルヘキ金額ヲ控除シ其ノ殘額ノミヲ支拂フヲ以テ足ル

第九條 前條ノ規定ニ依リ競落代金ノ支拂アリタルトキハ競賣ニ付セラレ
タル鑛業財團ノ所有權ハ競落人ニ依リテ設立セラレタル法人ニ移轉ス

第十條 第七條ノ期間内ニ法人設立ノ届出ナキトキ又ハ第八條ノ期間内ニ
競落代金ノ支拂ナキトキハ執行裁判所ハ職權ヲ以テ鑛業財團ノ再競賣ヲ
命スヘシ

前項ノ再競賣ニ關シテハ民事訴訟法第六百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第十一條 工場抵當法中工場財團ニ關スル罰則ハ鑛業財團ニ關シ之ヲ準用
ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 本案ノ報告ヲ致シマス、此案ハ鐵道抵當法案ノ委員ニ付託ニナリマシタコトハ數日前ノコトデゴザイマス、併ナガラ當時ハ鐵道抵當法案ノ審査中デアリマシタニ依ッテ此審査ニ取掛リマシタコトハ去ル十七日デアリマス、サウシテ一昨日決了イタシマシタ、此案ハ鐵道抵當法案、工場抵當法案ト兄弟ノ案デアリマスコトハ申スマデモナイデアリマスガ、サリナガラ各々多少ノ違ヒガアリマス、此三ツノ兄弟ノ中ニ多少ノ違ヒガアルヤウニ思ハレマス、鐵道抵當法案デ見マスルト百哩ナラ百哩、五十哩ト云フヤウニ一部ヲ切ッテ財團ヲ作ルコトガ出來マスガ、中ニアル品ハバラ／＼ニシテ個々別々ニスルコトハ出來ナイ、即チソレヲ引取ツタ時分ニ其儘營業ヲ續ケルヤウニ拵ヘナクテハナラヌ規定ニナッテ居ル、之ニ反シマシテ工場抵當ノ方ハバラ／＼ニ財團ヲ作ッテ宜シイヤウニ出來テ居リマス、此鑛業抵當法案ノ原案ハ鐵道ニ近カタノデアリマス、然ルニ委員修正ノ結果、寧ロ工場抵當法案ニ近クナリマシタ、此案ノ審査ハ丁度工場抵當法案ト同時デアリマシタニ依ッテ、工場抵當法案ト關係シテ居ル條項モ少カラヌニ依ッテ、之ト權衡ヲ保ツコトニ注意ヲシナケレバナラヌ、彼レ面倒ナコトガアリマスニ依ッテ特ニ精密ナル調査ヲ要シマスル爲ニ委員中ヨリ三名ノ小委員ヲ選舉シマシタ、ソレハ三島子爵、ソレカラ都筑馨六君、今一人……チヨイト記憶イタシマセヌ、甚ダ失敬デアリマスガ……三人ノ小委員ヲ選舉イタシマシタ、……古市君デゴザイマシタ、サウシテ特別ニ審査ヲ託シマシテ、サウシテ此小委員ガ審査シマシタ結果、此修正案ガ成立シマシタノデアリマス、此修正ノ箇條ハ第一條第四條及第十一條……十一條ハ新ニ加ヘマシタノデアリマス、第二條ニハ「同一」ト云フ字ヲ先ヅ一ト所加ヘマシタ、是ハ其主意ハ鑛業者ガ一人デ幾ツカヲ持ッテ居ル者ナラバ別々ニ財團ヲ作リマスル必要モアルマイ、同一採鑛者ニ屬スルモノナラバ一緒ニシテモ宜カラウト云フコト、ソレカラ下ノ「全部又ハ一部」ト云フノハ是モ其中幾分カ切ッテ一部ニシテモ宜カラウ、全部ガ勿論宜イガ一部ニシテモ宜カラウ、其方ガ原案ノ場合ヨリモ大ニ便利デアラウ、其方ガ或ル場合ニハ宜カラウ、大ニ便利ヲ増スダラウ、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソレカラ水ノ使用ト云フ所デ、是ハ「水ノ使用權」ト云フコトガ原案ニアリマシタガ、是ハ「水ノ使用權」ト云フノハ新字デアアルサウデアリマス、此解釋ハ中々一定シナイ趣デ色々難問モアルニ依ッテ、此「水

ノ使用權」ト云フ新字ハ使ハズニ置イタガ宜カラウ、併シ水ヲマルデ取除ケタト云フコトデハナイ、ソレハ水ヲ使フノニハ必ズ工作物……多少ノ工作物、勿論土地モアリマスガ、大體多少ノ工作物ガ其中ニ含ンデ居ルカラ別ニ此所ヘ新シイ疑問ニ互ル字ヲ持出サヌデアリカラウト云フ趣デ修正サレタ趣デアリマス、ソレカラ土地ノ使用權ト云フコトガ、二號ノガ三號ニ來マシテ、理窟ハ同ジコトデゴザイマスガ、是ハ工場抵當法案ノ方デハタシカ削ラレタカノヤウニ思ウテ居リマスガ、之ヲ此所ニ存シタノハ鑛業ノ方ハ人ノ土地ヲ使用スルト云フ場合ガ大變多イノデアアルカラ特ニ是ハ此所ニ置クガ必要ダト云フ議論デアリマシタ、ソレカラ「船舶、牛馬」ト云フ字モ工場抵當法案デハ削ラレタノデアリマスガ、鑛山ノ方ハ餘リ縁ガ遠イ、何レ鑛業ト云ヘバ山デスル仕事デアアル、此山デスル仕事ニ船ト云フノハ縁ガ遠イカラ、或ハ「他ノ附屬物」ト云フ方ニ含ミ切ラヌヤウナ心持ガスル、實際鑛山ハ船ヲ持ッテ居ル事實ガ澤山アルニ依テ、其他ノ附屬物ト云フノヲ之ヲ明ニ掲ゲテ置クガ宜イト云フ論デアリマシタ、ソレカラ第四條ニナリマスガ、第四條ノ五項ノ「會社」ト云フ字ヲ「法人」ニ更ヘマシタ、其他次ノ方ニ四五箇所アリマスガ、是ハ「會社」ト云フ文字ハ商法ノ所謂「會社」ニナルサウデアリマシテ、商行爲ニナル、鑛業ハ商行爲デアリマセヌカラ、用字ノ慣例ニ於キマシテ「法人」ト書カネバイケヌサウデアリマス、ソレ故ニ是ハ「會社」ト云フ字ハ總テ「法人」ト改メマシタ、其次ノ第六項ノ長ク修正サレテ居リマスガ是ハ文字ハ長ウアリマスガ、理窟ハ同ジコトデ「鑛業法第三十八條」云々ト何條何條ト條ヲ引イタノヲ、唯此所バカリニ條ヲ引出スノモ餘リ仰々シイ、唯是バカリノ爲ニ條ヲ引出スヨリハ寧ロ其全文ヲ此所ニ嵌メタ方ガ體裁ガ宜カラウ、且又鑛業法案ハ未ダ本院モ通過シテ居ラヌニ依テ、若シ條デモ變ルト是モ變ル、果シテ今日ハ委員長ノ御希望ニ依テ是ヨリ先キニ通過セマセナカツタガ、斯ウシテ置ケバ間違ナイヤウナ次第デアリマス、第十一條ニ加ヘマシタ理由ハ初メノ第三條ニ工場財團ニ關スル規定ヲ準用スルト云フコトガアリマスルニ依テ、罰則ノ準用ヲ此所ニ懸ク舉ゲル必要ハ無イト云フヤウナ議論モアリマシタサウデアリマスガ、又一面カラ言フト、罰則マデモ、準用スルト云フコトハ、是マデノ慣例上或ハ疑ハシイ、斯ウ云フ議論ガアリマシテ、然ラバ此所ニ罰則ハ特ニ第三條ガアルニモ拘ラズ、特ニ此所ニ一條ヲ加ヘテ財團ニ關スル罰則ハ云々ト斯ウスルガ確實デアルト云フ斯ウ云フ議論デ此所ニ加リマシタヤウナ次第デアリマ

ス、甚ダ不十分ナ報告デゴザイマシテ、實ハ小委員三名ノ御方ヨリ政府ノ筋トモ十分ニ協議サレマシテ、非常ナル御盡力、御熱心ヲ以テ小委員デ拵ヘタ所ノ案ガ委員會ニ提出サレマシテ、委員會ニ於テハ別ニ異議モ無ク、其趣意ヲ承リマシテ全會一致ヲ以テ全然同意ヲ致シマシタ、勿論政府委員ニハ小委員ガ既ニ同意ヲサセテ來ラレタト云フヤウナ次第デアリマス、不十分ナ報告デアリマスガ大體右ノヤウナ次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵曾我祐準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 全部特別委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ報告通りニ決シマス、此ニ於テ二讀會ハ終リマシタ

○子爵曾我祐準君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ是ヨリ三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 御異存ガ無ケレバ三讀會ハ終リマシタ、是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、前ニ御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔小原書記官朗讀〕

醫師免許規則中改正法律案特別委員

伯爵萬里小路通房君 子爵山本 實庸君 高木 兼寛君

男爵藤枝 雅之君 男爵島津 珍彦君 三宅 秀君

大澤 謙二君 伊澤 修二君 松村 脩平君

○議長(公爵德川家達君) 明日ハ本會議ヲ開キマスガ、議事日程ハ決定イタシ兼ヌカアラトヨリ御報告ニ及ビマス、本日ハ散會

午前十一時十九分散會